



なるほど!
それいいね!
…に出あえる時間

保護者の皆様へ

?? 図工の時間って何をする時間??

新学年が始まって、最初の図工の時間のことです。教室の子どもたちに対して、

「図工の時間って何をする時間ですか？」

こんな質問をしてみますと“図工”という教科名と、子どもたち自身のこれまでの経験から

「絵をかく時間です！」

「何かを作る時間です！ 工作をしました！」

といった答えがすぐに返ってきます。

そして、もう一つの大切な学習活動…、

「あっ、作品とかを“みる”時間！」と、

ひらめいた表情で答えてくれます。

大人になると… 絵をかく、立体作品をつくる、工作をする…といったような図画工作科でいう**表現の活動**の機会は少なくなるのではないのでしょうか。しかし**鑑賞の活動**はどうでしょう。街中のポスター、商品のパッケージ、昨日の夕焼け、あの喫茶店の雰囲気…時には美術館に行ってみようかな…とあらゆる場所や場面で、形や色などを“みて（見て・観て）”感じて、そしてそれを生活に取り入れているのではないのでしょうか。

図工の“みる”時間 = 鑑賞の活動

図画工作科の学習活動は、表現及び鑑賞の活動です。子どもたちが感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現活動と、作品などからそのよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める鑑賞の二つの活動によって行われます。この表現と鑑賞は独立して働くものではなく、互いに働きかけたり働きかけられたりしながら、一体的に補い合って高まっていきます。

お子さんの“観る”角度や、“気付く”ポイントに「なるほど!」「それいいね!」と共感してみてください。

カラーてんらん会 つくろう

私たちは、たくさんの形や色に囲まれて暮らしています。図工の時間には、絵の具や色えんぴつ、クレヨン・パス、カラーペンなどを使って色を表してきましたが、今回の家庭学習では、そういったものは使いません。お家の中にある様々な色をいっぱい集めてみましょう。包装紙やお菓子などのパッケージ、マスクをつくった時の布のあまり、新聞紙や雑誌、チラシ...など、ほかに、もっとたくさん色があると思います。

たくさん集めた中で、特に気に入ったものを5つ選びます。じっくり見てみましょう。何か共通点やテーマのようなものが、思いつくと思います。

あなた自身が感じたことをテーマにして「〇〇てんらん会」を開いてみましょう。どれとどれをとなりどうしにするかなど、「これだ!」と思う並び方を考えます。くわしいことは、右側に書いてあります。よく読んでから始めてください。

【注意】 どんなものでも、切ってはいけないことがあります。必ず、**お家の人に切っても良いか聞いてから**集めたり、切ったりしましょう。

1. 身の回りにある色を集めよう。

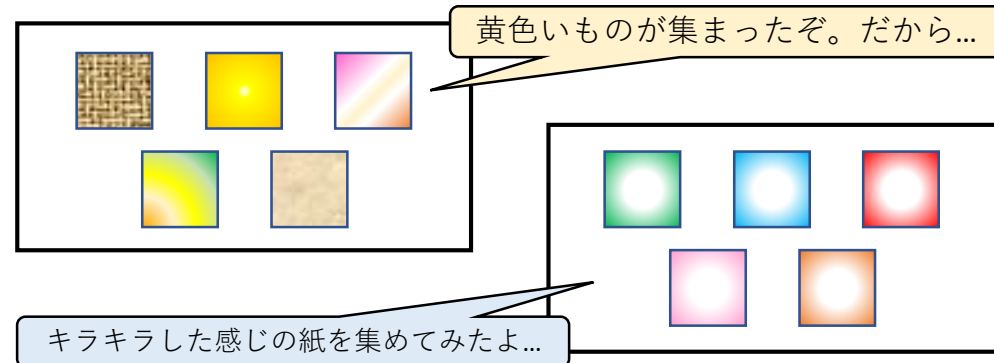
左の「ふきだし」にも書きましたが、お家にある様々な「色」のあるものを集めましょう。どんな色が見つかるでしょうか。できるだけたくさん集めてみましょう。

2. お気に入りの「5つ」をえらぼう。

たくさん集めた中から、お気に入りの5つを選びます。それを一辺が「約5cmの正方形」に切ります。

時間をかけて、その5つをじっくり見てみましょう。共通点やあなたなりのテーマが思いつくかと思いますが。

思いついたことをもとに、1～5にどんな並び方が良いか考えて置いてみましょう。



用意するもの (用意できたら、□に✓を書こう)

- えん筆・消しゴム
- はさみ
- のり・のり下紙
- ワークシート

3. 「〇〇てんらん会」をつくろう。

5つの並び方が決まったら、ワークシートにはりましょう。あなたが考えた「てんらん会」が開ききれます。

「てんらん会」のタイトルを考えて、ワークシートに書きましょう。さいごに、「てんらん会」についての説明やあなたがこだわったポイントなども書きましょう。

カラーてんらん会 ぎ 保護者用 つくろう

今回の図工の家庭学習は、鑑賞の活動が中心です。この活動を通して、身の回りにある形や色などの特徴をその子なりに感じ取り、その感覚を深めることをねらっています。

私たちは、たくさんの形や色に囲まれて生活をしています。その中で、自然と好きなデザインや、よく目に入る色などが、それぞれあるのではないのでしょうか。

今回はこの休校期間を利用して、家の中はたくさんの形や色にあふれているということを気付けないかということを考え、この家庭学習を設定しました。パッケージや新聞、チラシや雑誌、マスクを製作されたときに出了はぎれなどを集めることから始めます。そこから5つ選びワークシートに貼ります。その5つを美術作品のように見立てることで、いつもとは違った視点で捉えることができるのではないかと考えています。

【注意】 どんなものでも、切っ**て**はいけないことがあります。必ず、**お家の人に切っても良いか聞いてから**集めたり、切ったりしましょう。

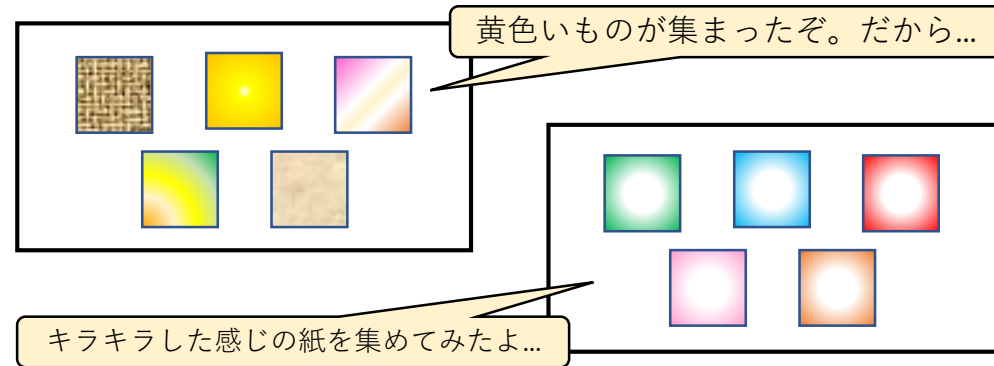
1. 身の回りにある色を集めよう。

左の「ふきだし」にあるとおり、身の回りにある「色」のあるものをたくさん集めます。その際に、切っても良いものと、いけないものがあるかと思います。お子さんにアドバイスをしながら、もしも切っ**て**はいけないものがあるときにはお声かけをお願いします。

2. お気に入りの「5つ」をえらぼう。

たくさん集めた中から、お子さんが**お気に入りの5つ**を選びます。それを一辺が「約5cmの正方形」になるように切りますが、これは目安の大きさです。

それを下の図のようにワークシートに並べてみます。「これは！」という並び方を考え、そこから感じるイメージを「**展覧会**」のテーマにします。なかなか思いつかないお子さんもいらっしゃると思いますが、その時には無理に進めるのではなく、別の家庭学習をするなど、一度この課題から離れることも必要かもしれません。



3. 「〇〇てんらん会」をつくろう。

5つの並び方が決まったら、ワークシートに貼ります。ここに、お子さんが考えた世界に一つだけの「**展覧会**」が生まれます。

「たしかにこの色、この部分きれいだね」「あなたのおかげでこのパッケージに、こんな色があったことに気付けたよ」「なるほど、この展覧会のタイトルは、いいね!」などと肯定的に声をかけてください。何よりお子さんならではの視点をお楽しみください。

用意するもの (お子さんが用意できたかご確認をお願いします)

- 鉛筆・消しゴム
- はさみ
- のり・のり下紙
- ワークシート



てんらん会名： 名前：

◎ あなたの考えたてんらん会についての説明や、この学習でこだわったことなどを下に書きましょう。

Blank writing area with a dashed horizontal line for a separator.

この後も気になる色や新しい色を見つけたら、自由帳に貼るなどして、あなたのコレクションにくわえましょう。